

平成20年度 佐賀県母子寡婦福祉大会

大会テーマ 地域での活動の輪を更に広げよう

平成20年度佐賀県母子寡婦福祉大会が、7月13日（日）鳥栖市民文化会館において盛大に開催されました。来賓には県佐藤保健福祉本部長、橋本鳥栖市長、県選出衆参両院議員等のご臨席をいただき、ご支援、激励のお言葉をいただき一同感激いたしました。平成20年4月からの児童扶養手当一部支給停止は、低所得が続いている母子家庭の実態から凍結となり、母子家庭等の自立に向けての努力と相互支援など、団体活動が大切なことを実感いたしました。

講演は、九州の要に位置する「交通の要衝鳥栖の今と昔」を鳥栖市教育委員会藤瀬禎博氏に映像でわかりやすくお話いただきました。



午後のパネル討議は、「子と共に生きる力を育もう」をテーマに、みやき町渡辺祥子さん、嬉野市小楠裕子さん、佐賀市原本きみ子さん、母子家庭等就業・自立支援センター成富就業相談員が意見発表を行い、会場の皆さんと意見交換しました。助言者は県母子保健福祉課西山課長、吉村理事長でした。その後、申し合わせ・決議を行い、大会は無事終了いたしました。

目次

- ・平成20年度佐賀県母子寡婦福祉大会 P 1
- ・平成20年度九州大会意見発表 P 2
- ・平成20年度事業報告 P 3～7
- ・佐賀県母子保健福祉課からのお知らせ P 8
- ・平成21年度行事予定・無料法律相談 P 8





共に歩もう母子と寡婦

(財)佐賀県母子寡婦福祉連合会副理事長 古川 マス子
佐賀市母子寡婦福祉連合会会長

平成20年度大会テーマ「地域での活動の輪をさらに広げよう～共に歩もう母子と寡婦～」の一例として『トワイライトサロン』の計画から実施までの経緯を簡単にお話いたします。

皆様の団体と同じく、年度当初には年間事業計画を立て、具体的に実施をするのですが、佐賀市は、平成18年、平成20年と2回に亘り市町村合併をいたしました。人口25万都市となり、当然のことながら母子家庭も約2500世帯となりました。

幸い旧佐賀市人口18万の19校区に、合併の6町1村の各地区に会長、母子部長を配置することができました。総勢25名です。

皆様ご承知のように、寡婦の役員はなんとか都合をつけられるのですが、母子部役員は仕事を持っています。毎月1回の割合で会長会を開催いたしますが、母子部役員の都合を優先し、土曜日、日曜日になります。といながらも全員集合とはいきません。ただ、私が救われるのは会長の皆さんが常に協力体制をとってくれることが非常に有難いです。

若年母子会員が少ないという悩みは、全国大会、また九州大会などで異口同音に出る意見です。私どもの会ではそういう事を補えるようにできるだけ小さな集いを数多くするように努力しています。その中の一つが「トワイライトサロン」と名づけて実施しているものです。

トワイライトというのはすでに皆さんご存知のように夕方、宵の口というような意味になっているのですが、佐賀市全体をおおまかに6ブロックくらいに分け、1ブロックごとに土曜日の夕方より、会場費がかからない地区の公民館を借りて、寡婦、母子の食事会をいたします。当番地区の寡婦の方、役員さんも含めて料理の下準備をいたします。そこへ仕事を終えたお母さん達が子どもを連れてきます。挨拶もそこそこに親子ともにエプロン姿に変身です。おばあちゃんたちがお母さんにおふくろの味を教えたり、子育ての相談に応じたりしながら、メニューは子ども中心の料理を作ります。

全く知らない人同士が初めて会い、ひざをまじえるというのも度々あります。地区や学校が違う者同士なのですが、まず子ども達が友達になり、親もその場の雰囲気ですぐに「学校問題、生活、子育て、仕事」のことなど雑談のうちに自然に打ち解けて話しております。寡婦の方々は自分達の経験や現在の社会情勢を踏まえ、話し相手になったりアドバイスしたりします。また、そこに初めて出席した人の中には「こんな会や団体があることは知らなかった。」という光景は多々あります。大体一会場に20～35名くらい集まります。平成20年度も1回目は5月6日に、福岡県境にあります18年に合併した所ですが、三瀬で実施し30名集まりました。「三瀬」という所は山菜のメッカですので、竹の子ご飯、かきたま汁、サラダ、杏仁豆腐というメニューです。2回目は7月26日有明海沿いの諸富にて実施し21名の参加者でした。ここは玉ねぎの産地です。そこで、牛丼、もずくの吸い物、スパゲティサラダ、フルーツヨーグルトを作りました。つとめて地産地消です。子ども達にも洗い物をしたり包丁を使ったりさせます。子ども同士で話も弾みますが、騒ぎもします。子ども達には盛り付けや配膳をさせます。思ったより上手にやってくれる子もいます。配膳のときは、ご飯や汁物の位置、箸の置き方なども教えます。皆そろったところで会長である私が「手を合わせて、いただきます。」の音頭を取ります。年間4回～6回実施いたします。

他に毎年、若年母子研修会や地区研修会、パソコン講座などを計画、実施しております。これだけの行事を消化するのは本当に大変なことです。でも当初申し上げましたように、現在の役員の方々が各々協力体制をとってくれるので、やっていけるのです。全役員が私的なことはさておき、頑張ってくれているので今日があると思います、常に感謝しております。

現在、会員の高齢化、若年母子の未加入などで会費徴収もままならず、会計担当は頭を抱えています。しかし、計画を立て、実施しないとそれすら叶えられませんので、前向きに取り組む体制は取らなければと思って頑張っています。

本日ご出席の皆様の中には同じ悩みを抱えていらっしゃるかとも思います。前に進むより他ありません。「継続は力なり」です。ご一緒に頑張ってみましょう。

平成20年度 事業報告

母子家庭等就業支援講習会

訪問介護員（ヘルパー）養成2級課程講座

- ・期 間 7月22日～8月28日（130時間）
- ・場 所 母子福祉センター、介護施設等
- ・受講者 20名
- ・修了者 19名



<受講者の感想>

- ・研修で学んだことを生かし、目標に向かってがんばっていきたいと思います。
- ・目標に対しての足元を固めるという部分では為になったし、これからも頑張って経験を積んでいきたいと思います。

パソコン（表計算）3級講座

- ・期 間 9月1日～9月30日（100時間）
- ・場 所 母子福祉センター
- ・受講者 19名
- ・合格者 13名（3級表計算技士資格取得）



<受講者の感想>

- ・独学になると、ここまでしっかりと知識を身につける事はできなかったと思うので、来ることができて、よかったですと思いました。
- ・初めてで、とまどいもありましたが、今回受講したことで自信がつかえました。

保育サポーター（家庭生活支援員）養成研修

- ・期 間 2月1日～2月22日
- ・場 所 母子福祉センター
- ・受講者 27名（継続受講を含む）
- ・修了者 20名



講座修了者は、家庭生活支援員として登録し右のような母子家庭等日常生活支援員（子育て支援）をしていただきます。

母子家庭等日常生活支援事業



母子家庭、父子家庭、寡婦の方で、一時的に保育や家事・介護の援助を必要とされるとき、要請を受けて家庭生活支援員が訪問し、身の回りのお世話や保育を行います。

また、家庭生活支援員の自宅や講習会会場などで子どもを預かるサービスをすることもあります。

病気など緊急な要請の場合が多いので、できるだけたくさんの支援者が必要です。

登録をお願いします。



仕事と子育ての両立支援研修講座

日 程 平成20年9月12日（金）～11月30日（日）

時 間 19：00～21：00 最終日のみ10：00～12：00

場 所 佐賀県母子福祉センター

アバンセ4階・研修室（最終日のみ）

※就学中の子どもさんへは、佐賀大学の学生のみなさんによる学習指導もありました。

講 師

佐賀大学文化教育学部 教授 北川 慶子さん (有)オフィス・タカハシ代表取締役社長 高橋 勝則さん

佐賀大学文化教育学部 教授 大元 誠さん (株)ニューエイジ取締役会長 立川 恵子さん

《受講者の声》

- ・今回のセミナーに参加して、これからの自分の生き方に対する考え方が幅広くなったのではないかと思います。専門分野の違う、個性溢れる4人の先生方のお話により毎日感銘を受け、自分自身にとって栄養剤となりました。
- ・19：00にここへ来ようと思って仕事をパッパと切り上げる自分がいた。



- ・これから生きていくにあたり、自分の事に加え、周囲の人達との関わりを大切にしていきたいと思った。
- ・自分にできることで、誰かの役に立てることがあるのなら、役に立てていきたいと思う。
- ・皆さんと出会えてよかった。

20年度子育てフェスタひまわり事業

みんなで作ろう！

日 時 平成20年11月30日（日）13：00～

場 所 アバンセ

親子ふれあいメニュー

- ①折り紙
 - ②コサージュ
 - ③竹トンボ
 - ④松ぼっくりのツリー
 - ⑤エコクラフトのマスコット・お手玉
 - ⑥クッキング
(栗おこわ、チーズケーキ、梅が枝もち)
- おみやげ……………ペンシルバルーン、梅が枝もち

他にバザーもありました！

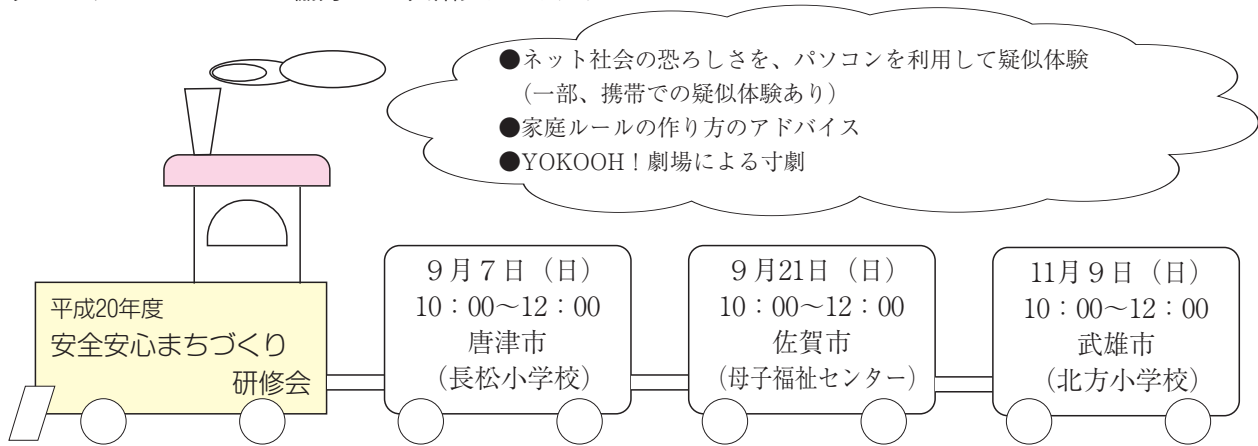


《参加者の声》

- ・娘と共に参加。日頃親子で取り組むことも少なく、久しぶりに一緒の時間を過ごせたことは思い出として残ってくれることと信じています。娘は2度目の参加。本人が今回希望しました。(40代)
- ・季節の飾りをいろいろ習えて楽しかったです。(30代)
- ・まだ少し小さかったので出来なかったが、楽しんでいたようでした。ケーキもおいしかったです。(20代)

～携帯電話等による犯罪から子どもたちを守るために～

携帯電話から簡単につながるインターネット社会の問題について、子どものネット環境を守る市民活動を行っているグループKodomo2.0の協力により研修しました。



バラエティに富んだ研修で、研修前は、もしネットトラブルにあった際にどうすればよいかわからないと答えていた人も、研修後は全員、対処法がわかった又は相談相手がわかったと答えていました。

※子どもにケータイを使用させる場合には、家族で話し合っ、ケータイの使い方をしっかり決めてからにしましょう。



ひまわりトーク&トーク



月日：平成21年3月1日 (日) 場所：アバンセ4F 第1研修室

■ふたりでトーク 「ひとり親家庭の現在・過去・未来」 10:30～12:00



《ゲスト》

(株)ニューエイジ取締役会長 立川 恵子さん
(有)オフィス・タカハシ代表取締役社長 高橋 勝則さん

- ・ざっくりばらんでわかりやすかったです。
- ・やっぱり「笑顔」がいちばん大事な事だと思います。

■ワークショップ 「喜びのための悲しみ 楽しさのための苦しみ」 13:00～15:30



いろんな悩みを語り合いました。

《助言者》

佐賀大学文化教育学部 教授 北川 慶子さん
佐賀大学文化教育学部 教授 大元 誠さん
県母子寡婦福祉連合会理事長 吉村マサ子

- ・話す事が大切。自分の思いを語れば、解決しなくても心が楽になり、明るくなる。同じ立場だからこそ、わかり合える。出会いのありがたさ、「また機会があれば、話しましょう」と笑顔で終えました。

地区母子連の活動

佐賀市 「親と子の料理教室」 (6月22日)

身近にある材料で珍しいメニューを教えていただいた。
子ども達は嬉々として楽しんでいました。母達は家でも作ってみようと話していました。



唐津市 「母子寡婦研修会」 (11月8～9日)

自然の中(波戸岬少年自然の家)で、親子、会員間の交流を深めることができました。
ストーンアートにも挑戦し、発電所や植物園の見学もありました。



神埼市 「ウォーキング教室」 (11月2日)

天気も良く、みんな元気で楽しくできました。体力的にちょうど良いと、参加者満足の様子でした。お昼は子ども達も材料を切ったりして、料理(カレー)を作りました。



多久市 「講演」 楽しく美しく過ごすために (5月11日)

菊池保健師の毎日の生活での食生活、運動の大切さについて、皆さん熱心に研修し、関心が高かったようです。
自分の健康の大切さが幸せにつながっていることを自覚できました。



武雄市 「講演」 安心・安全のために (4月27日)

振り込め詐欺や、あの手この手のだましの手口、身の回りの危険な事など、実例を交えながら、判りやすく話していただき、防犯の大切さを実感した有意義な一日でした。



平成20年度事業実施状況報告

(財)佐賀県母子寡婦福祉連合会

月	日	曜	行 事 内 容	場 所
4	18	金	監事監査	母子福祉センター
	22～23	火・水	九州地区母子寡婦福祉研修大会 第1回運営委員会	大分県
	28	月	第1回理事会、第1回市・地区会長会	母子福祉センター
5	15	木	市・地区役員研修会	アバンセ
	17	土	全国母子寡婦福祉団体協議会理事会・評議員会	東京都
6	13	金	臨時理事会、第2回市・地区会長会	母子福祉センター
	15	日	第1回市・地区母子部長会	母子福祉センター
7	13	日	佐賀県母子寡婦福祉大会	鳥栖市民文化会館
	7/22～8/28		訪問介護員養成2級講座(130時間)	母子福祉センター他
	24～25	木・金	九州地区母子寡婦福祉研修大会 第2回運営委員会	大分県
8	4	月	臨時理事会、第3回市・地区会長会	母子福祉センター
	24	日	第2回市・地区母子部長会	母子福祉センター
9	9/1～9/30		パソコン(表計算)3級講座(100時間)	母子福祉センター
	7	日	安全安心のまちづくり研修会(北部)	唐津市立長松小学校
	9～11月		仕事と子育て両立支援研修講座(全10回)	母子福祉センター
	21	日	安全安心のまちづくり研修会(中東部)	母子福祉センター
	25	木	第4回市・地区会長会	母子福祉センター
10	5～6	日・月	全国母子寡婦福祉研修大会	京都市
	17	金	九州地区母子寡婦福祉研修大会 第3回運営委員会	大分市
	18～19	土・日	第55回九州地区母子寡婦福祉研修大会	大分市
	26	日	第3回市・地区母子部長会	母子福祉センター
11	6	木	第5回市・地区会長会	母子福祉センター
	9	日	安全安心のまちづくり研修会(西部)	武雄市立北方小学校
	30	日	子育てフェスタひまわり事業(親と子のふれあい研修会)	アバンセ
12	12	金	第6回市・地区会長会	母子福祉センター
1	15	木	第7回市・地区会長会・初寄会	母子福祉センター
	16	金	佐賀県母子福祉センター運営委員会	母子福祉センター
2	1、8、15、16、22		保育サポーター(家庭生活支援員)養成研修	母子福祉センター
	15	日	第4回市・地区母子部長会	母子福祉センター
	26	木	全国・九州母子寡婦福祉研修大会 第1回運営委員会	北九州市
3	1	日	ひまわりトーク&トーク(アバンセ県民企画公募事業)	アバンセ
	14～15	土・日	パソコン入門講座(12時間)	母子福祉センター
	14	土	全国母子寡婦福祉団体協議会役員会・理事会・評議員会	東京都
	15	日	全国母子寡婦指導者研修会	東京都
	25	水	第2回理事会、第8回市・地区会長会	母子福祉センター

佐賀県母子保健福祉課からのお知らせ



高等技能訓練促進費の支給期間が延長されました

高等技能訓練促進費は、母子家庭の母が看護師・介護福祉士等の資格取得を目指して2年以上養成機関で修業する場合に、生活安定のための費用を支給する制度です。

従来は最後の3分の1の期間に月額103,000円（課税世帯51,500円）が支給されることになっていましたが、平成21年2月以降は後半の2分の1の期間に延長されました。支給には事前相談が必要です。3年制の養成機関の2年次に在学されている方は、平成21年2月分から支給できますのでぜひご相談ください。

市にお住まいの方は各市福祉事務所へ、町にお住まいの方は、各管轄の保健福祉事務所へご相談ください。ただし、県及び各市で実施内容が多少異なることがあります。

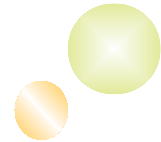
【現行】 修業期間の最後の3分の1の期間（上限12か月）



【改正後】 修業期間の最後の2分の1の期間（上限18か月）

〔お問い合わせ先〕

佐賀県健康福祉本部母子保健福祉課 母子福祉担当 TEL0952-25-7056



平成21年度行事予定

- 4.27（月） 第1回理事会、市・地区会長会
- 5.14（木） 市・地区役員研修会
- 6.14（日） 第1回市・地区母子部長会
- 7.12（日） 佐賀県母子寡婦福祉大会（鹿島市）
- 7月～8月 訪問介護員養成2級課程講座
- 9月～10月 安全安心のまちづくり研修会
- 10.18～19 全国母子寡婦福祉研修大会
九州地区母子寡婦福祉研修大会
（北九州市）
- 11月 母と子のふれあい研修会
- 1月 保育サポーター養成研修
- 2月 ひまわりトーク&トーク

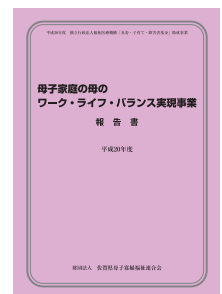
平成21年度無料法律相談（要予約）

- ・母子福祉センター
4月より、月2回から月1回になります。
毎月第4木曜日13時～15時
※巡回相談は、行われません。
法テラス佐賀 050-3383-5510 もご利用ください。
アバンセ法律相談 0952-26-0018

母子家庭の母のワーク・ライフ・バランス「仕事と子育ての両立支援講座」の報告書が事務局にございます。閲覧ご希望の方はお申し出ください。

〈お問い合わせ先〉

事務局 佐賀県母子福祉センター内
佐賀市鬼丸町7-18
TEL 0952(24)0064



この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。